Kumamoto City
News Release

令和８年（２０２６年）１０月２３日

令和８年熊本地震復興支援事業
国際音楽交歓コンサート 2026 熊本公演の開催について

10 月 31 日に市民会館シアーズホーム夢ホールにて、令和８年熊本地震復興支援事業　国際音楽交歓コンサート 2026 熊本公演が開催されます。

１　日時　　令和８年（２０２６年）10月３１日（土）１４時開演

２　場所　　市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）

３　出演者
・フォルカー・ツヴェチュケ（ピアノ）
・アストヒク・サルダリャン（ヴァイオリン）
・レオニード・ボムステイン（テノール）
・アレクサンドル・ゾロタレフ　（ピアノ）
・スターシャ（ソプラノ）
・熊本少年少女合唱団

４　予定プログラム
・ショパン/バラード 第 1 番 作品 23
・チャイコフスキー/「白鳥の湖」より“ロシアの踊り”
・プッチーニ/「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”
・プッチーニ/「ラ・ボエーム」より “私の名はミミ”
・藤原道山/「火の国の母よ」第 3 曲

５　主催者　　公益社団法人国際音楽交流協会（熊本市共催）

【お問い合わせ先】
文化政策課
電話：096-328-2039
課長：赤石　宗知

国際音楽交歓コンサート2026

10/31(土)
14:00開演（13:15開場）

市民会館 シアーズホーム夢ホール
（熊本市民会館）

□全席自由、入場無料（※要整理券）
□応募期間 9月1日（火）～10月11日（日）消印有効

右記要領により、インターネットまたは往復はがきでお申し込みください

■インターネット申し込み
右記二次元コードから必要項目を入力の上、ご送信ください。

■郵便

▶往信表面

85 8620971
往信

熊本市中央区大江
2-4-5 2F
国際音楽交歓
コンサート2026
熊本公演事務局 宛
(KKTエンタープライズ内)

◀返信裏面

この面には
何も記入
しないでください

▶返信表面

85 □□□-□□□□
返信

応募者の
郵便番号
住所・氏名を
ご記入ください

◀往信裏面

①郵便番号
②住　　所
③氏　　名
④年　　齢
⑤電話番号
⑥希望人数
(4人まで)
※4人以上の場合は
別途申込

※出演者は変更になる場合があります
※会場によって出演者が異なります

INTERNATIONAL MUSIC EXCHANGE CONCERT 2026



コンサート関連動画を YouTube で公開中！
STasha

開催地区
特別出演

熊本少年少女合唱団



予定プログラム
（一部抜粋）

バラード第1番作品23
／ショパン

「白鳥の湖」より“ロシアの踊り”
／チャイコフスキー

「トゥーランドット」より
“誰も寝てはならぬ”
／プッチーニ

「ラ・ボエーム」より“私の名はミミ”
／プッチーニ

「火の国の母よ」第3曲
／藤原道山

応募の注意事項

●インターネットまたは往復ハガキでの申し込みとなります。電話での申し込みはできません。 ●お申し込み1件につき、4名までお申し込みいただけます。 ●先着順により受け付け、応募期間内であっても、満席になり次第、受付を終了します。 ●10月18日（日）ごろまでに入場整理券をお送りします。 ●当日は必ず、入場整理券をお持ちください。 ●車いすの利用など配慮が必要な事項がありましたら、お申込み時にご記載ください。 ●未就学児の入場も可能ですが、周りの方へのご配慮をお願いいたします。

■主催：公益社団法人 国際音楽交流協会（http://www.imea.or.jp/）

（会員） 本願寺
井村屋グループ株式会社
ダイキン工業株式会社
大阪ガス株式会社
株式会社大原の里

■後援：総務省　外務省　厚生労働省
文化庁　こども家庭庁
社会福祉法人全国社会福祉協議会
一般財団法人自治体国際化協会
公益財団法人日本ピアノ教育連盟

■協賛：井村屋グループ株式会社

■文化交流パートナーシップ提携先：
ヨーロッパ・クラシック・フェスティバル
オルベテッロ・ピアノフェスティバル

［熊本地区］

■地区共催：熊本市

■お問合せ：国際音楽交歓コンサート2026
熊本公演事務局（KKTエンタープライズ内）
TEL.096-363-7733
（平日10:00～17:00）



オレグ・ポリャンスキー（ピアノ）
Oleg Poliansky

1968年キエフ（ウクライナ）に生まれる。キエフ中央音楽学校を経て1986年グネーシン音楽大学に進んだ。1991年より1993年までモスクワ音楽院でS.ドレンスキーに師事する。モントリオール国際音楽コンクール（1988年）第3位、第11回チャイコフスキー国際コンクール（1998年）第6位等数多くの国際コンクールで入賞を果たす。ケルン音楽大学で教鞭をとった後、現在はロシア、ウクライナ、ドイツ、イタリア、アメリカ、オーストラリア等世界中で演奏活動を行っている。



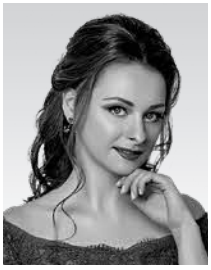
アストヒク・サルダリャン（ヴァイオリン）
Astkhik Sardarian

1993年エレバン（アルメニア共和国）に生まれる。幼少よりヴァイオリンを始め、2006年からモスクワ音楽院中央特別音楽学校で研鑽を積んだ。2012年にモスクワ音楽院に進み、S. クラフチェンコ氏に師事した。
第9回青少年のためのロシアヴァイオリンコンクール（2004年、ヤロスラヴリ）第１位入賞をはじめ、フィンランド、スペイン、ギリシャ、アルメニア共和国、アラブ首長国連邦等で開催された国際コンクールで第1入賞、グランプリ受賞を果たす。モスクワ音楽院大ホールやクレムリン宮殿をはじめ、アルメニア共和国、ベラルーシ共和国等国内外で精力的な演奏活動を行い、ソロリサイタルに加え数多くのオーケストラとの共演も果たす。



アレクサンドル・ゾロタレフ（ピアノ）
Alexander Zolotarev

サンクトペテルブルグ（ロシア）に生まれる。5歳でピアノを弾き始め、サンクトペテルブルク音楽院を経て、ケルン音楽大学（現ケルン音楽舞踊大学）で更なる研鑽を積んだ。ロシアやイタリアをはじめ数多くの国際コンクールで入賞歴がある。1991年にシュレースヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭に招待され、ドイツ連邦共和国大統領の前でリサイタルを行った。ドイツ移住後、1999年から現在までジーゲン大学で教授を務める傍ら、ドイツ国内をはじめ、ヨーロッパ各国やアメリカ等で精力的な演奏活動を行う。また、2001年からシュマレンベルクの室内楽フェスティバルの芸術監督を務める。



スターシャ（ソプラノ）
STasha

モスクワに生まれる。モスクワ音楽院アカデミック音楽カレッジを経て、グネーシン記念音楽アカデミーでクズネツォワ氏に師事した。ミュージック・ウィズアウト・リミッツ（2013、リトアニア共和国）第1位入賞、ミュージカル・パフォーマンス・アンド・ペダゴギー（2014、イタリア）第1位入賞等、数々の国際コンクールでの入賞歴を持つ。2011年からグネーシン劇場のオペラスタジオでソリストを務めた。ロシア国内をはじめイタリア、フランス、ドイツ、スイス、カザフスタン、ベトナム、日本等、世界中で精力的な演奏活動を行っている。大の親日家であり、2015年の初来日以降41道府県76市町村に於いて延べ約150公演を行った。また、2021年に「日本大好きスターシャ」としてYouTubeチャンネルを開設し、童謡、唱歌、都道府県歌、演歌、歌謡曲等、日本文化を広く発信している。

日本大好きスターシャが
歌ってみた!
YouTube で公開中!
STasha





レオニード・ボムステイン（テノール）
Leonid Bomshteyn

1967年レニングラード（現在のサンクトペテルブルグ）に生まれる。1996年にグネーシン音楽大学を卒業後、スタニスラフスキー&ミネロヴィチ・ダンチェンコ国立モスクワ音楽劇場での活動を経て、1998年ボリショイ劇場のソリストとなる。その後、母校であるグネーシン音楽大学で後進の指導にあたった。これまでに、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オーストリア、トルコ、アイルランド、セルビア、イスラエル、チェコ、ハンガリー、ポーランド、アメリカ、スイス、日本、中国等、世界中で精力的な演奏活動を続ける。



ジュリアーノ・アドルノ（ピアノ）
Giuliano Adorno

ラ・スペツィア音楽院“ジャコモ・プッチーニ”卒業（1999）。マヨルカ国際コンクール、メンデルスゾーン国際コンクールをはじめ、国内外の数々のコンクールに入賞。ソリストとしてイタリア国内をはじめ、フランス、ベルギー、スペイン、ザルツブルグなどヨーロッパ各地でリサイタルを開催する。また、各地で数多くの国際音楽祭に招待されている。室内楽の活動にも力を入れており、オーボエのアルブレヒト・マイヤー、ソプラノのエリザベス・ノルベルグ・シュルツ、チェリストのハンス・エーベルハルト・デントラー等と共演した。現在、グロッセート音楽院（イタリア）にて後進の指導にあたる傍ら、2012年よりオルベテッロ・ピアノフェスティバル芸術監督を務める。



フォルカー・ツヴェチュケ（ピアノ）
Volker Zwetzschke

旧西ドイツに生まれる。幼少からピアノを学び、ベルギーの作曲家、ジャクリーヌ・フォンテインの助言により演奏家への道を選んだ。デトモルト音楽大学卒業後、アイナル・ステーン＝ノックレベルグに師事し更なる研鑽を積んだ。また、同時期に、ヴェストファーレン・ヴィルヘルム大学で哲学を学んだ。1996 年から 2011 年までピアノデュオ“INVIA”のメンバーとして活動し、第6回グリーグ国際コンクール（オスロ）において、第一位（オスロ賞）、グリーグ賞、聴衆賞、スポンサー賞の4賞を受賞した。現在、後進の指導を続ける傍ら、ヨーロッパを中心に世界各国での演奏活動や国際コンクールの審査員を務める等、精力的に活動している。

クラシックって楽しいな!
（2015～）

当協会では、より多くの皆様にクラシック音楽を身近に感じて頂くことを目的に、クラシック音楽に関連する面白い情報を掲載したパンフレットを作成し、日本全国約1,250箇所の音楽ホールや当協会主催事業等の会場、当協会のホームページ（http://www.imea.or.jp/）を通じて広く国民の皆様に配布しています。このパンフレットは宝くじの公益法人助成事業（社会貢献広報事業）として一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けています。

